

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 28 年 8 月 12 日 (2016.8.12)

【公開番号】特開 2015-38677 (P2015-38677A)
 【公開日】平成 27 年 2 月 26 日 (2015.2.26)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-013
 【出願番号】特願 2013-169306 (P2013-169306)
 【国際特許分類】

G 0 7 G 1/00 (2006.01)

G 0 7 G 1/12 (2006.01)

【F I】

G 0 7 G 1/00 3 2 1 E

G 0 7 G 1/12 3 2 1 C

【手続補正書】
 【提出日】平成 28 年 6 月 22 日 (2016.6.22)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

精算処理を行った P O S 端末を特定する端末情報を含む精算情報を受信する精算情報受信部と、

前記 P O S 端末に設けられた無線タグと通信を行う無線通信部と、

前記精算情報受信部が受信した前記精算情報に含まれる端末情報と、前記無線通信部が前記無線タグから読み取った端末情報と、を照合し、認証を行う認証部と、

前記認証部による認証後、現金の入金を許可する制御部と、を備えることを特徴とする現金管理機。

【請求項 2】

前記無線通信部は、近接場型の無線通信を用いて通信を行い、

前記精算情報受信部は、前記無線通信部より通信距離が長い無線通信を用いて通信を行うことを特徴とする請求項 1 に記載の現金管理機。

【請求項 3】

前記精算情報は、前記現金を収納する収納箱を開くためのドロアーオープン命令を含み、

前記制御部は、前記認証部による認証後、ドロアーオープンすることで前記現金の入金を許可することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の現金管理機。

【請求項 4】

前記精算情報は、前記 P O S 端末を操作するオペレーターを特定するオペレーター情報と、前記精算処理の精算金額を含み、

前記オペレーターごとまたは前記 P O S 端末ごとに、前記精算金額の累計を記憶する精算結果記憶部をさらに備えることを特徴とする請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 項に記載の現金管理機。

【請求項 5】

前記精算情報の受信から認証完了まで、前記無線タグの読み取り待機状態であることを示す表示を行う表示部をさらに備えることを特徴とする請求項 4 に記載の現金管理機。

【請求項 6】

前記表示部は、前記精算情報の受信から認証完了まで、前記オペレーター情報を表示することを特徴とする請求項５に記載の現金管理機。

【請求項７】

請求項１ないし６のいずれか１項に記載の現金管理機と、
前記ＰＯＳ端末と、を備えることを特徴とする精算処理システム。

【請求項８】

前記精算情報受信部は、精算処理を行った前記ＰＯＳ端末から前記精算情報を受信することを特徴とする請求項７に記載の精算処理システム。

【請求項９】

前記ＰＯＳ端末は、
前記精算処理ごとに異なる前記端末情報を生成する端末情報生成部と、
前記精算処理ごとに生成した前記端末情報を前記無線タグに記録する端末情報記録部と、
を備えることを特徴とする請求項７または８に記載の精算処理システム。

【請求項１０】

前記現金管理機は、
前記認証部による認証後、前記ＰＯＳ端末に、認証が完了したことを示す認証完了情報を送信する認証完了情報送信部をさらに備え、
前記ＰＯＳ端末は、
複数台の前記現金管理機に対し、前記精算情報を送信する精算情報送信部と、
任意の前記現金管理機から前記認証完了情報を受信した場合、当該任意の現金管理機以外の他の現金管理機に対し、前記精算情報に基づく処理をキャンセルするキャンセル信号を送信するキャンセル信号送信部と、を備えることを特徴とする請求項７ないし９のいずれか１項に記載の精算処理システム。

【請求項１１】

前記認証完了情報送信部は、前記精算情報の受信から所定時間以内に認証完了した場合、前記認証完了情報を送信し、
前記現金管理機は、
前記精算情報の受信から所定時間以内に認証完了しなかった場合、前記ＰＯＳ端末に対し、エラー信号を送信するエラー信号送信部をさらに備えることを特徴とする請求項１０に記載の精算処理システム。

【請求項１２】

精算処理を行ったＰＯＳ端末を特定する端末情報を含む精算情報を受信する精算情報受信ステップと、
前記ＰＯＳ端末に設けられた無線タグと通信を行う無線通信ステップと、
前記精算情報受信ステップで受信された前記精算情報に含まれる端末情報と、前記無線通信ステップで前記無線タグから読み取られた端末情報と、を照合し、認証を行う認証ステップと、
前記認証ステップによる認証後、現金の入金を許可する制御ステップと、を実行することを特徴とする現金管理機の制御方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

本発明の現金管理機は、精算処理を行ったＰＯＳ端末を特定する端末情報を含む精算情報を受信する精算情報受信部と、ＰＯＳ端末に設けられた無線タグと通信を行う無線通信部と、精算情報受信部が受信した精算情報に含まれる端末情報と、無線通信部が無線タグから読み取った端末情報と、を照合し、認証を行う認証部と、認証部による認証後、現金の入金を許可する制御部と、を備えることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の現金管理機の制御方法は、精算処理を行ったPOS端末を特定する端末情報を含む精算情報を受信する精算情報受信ステップと、POS端末に設けられた無線タグと通信を行う無線通信ステップと、精算情報受信ステップで受信された精算情報に含まれる端末情報と、無線通信ステップで無線タグから読み取られた端末情報と、を照合し、認証を行う認証ステップと、認証ステップによる認証後、現金の入金を許可する制御ステップと、を実行することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記の現金管理機において、精算情報は、現金を収納する収納箱を開くためのドロアーオープン命令を含み、制御部は、認証部による認証後、ドロアーオープンすることで現金の入金を許可することを特徴とする。